

就労移行
支援事業所
って何？

Q1.どんな人が利用できる？

メンタルクリニック・心療内科等へ通院中の人、または障害者手帳を持っている人。

Q2.どのくらいの間利用できる？

最長2年間利用できます。

Q3.利用料金は？

申請後、前年度の収入により自己負担額(0円～上限37,200円)が決定します。自己負担額0円の利用者も多数いるそう。

障がいを持つ人の「一歩踏み出す」を応援！

就労移行支援の場を取材



マネージャー
川浦 華渡さん

就労移行支援事業所は、障害者手帳を持った人のみが利用する場所と思われている人も多いのでは？ 離職中または休職中でメンタルクリニックに通院している人であれば事業所を利用できます。過去に利用者としての経験を持つ川浦さんは「しばらく離職した後パソに通い始めましたが、ここに通うことで自分自身の社会性が戻ってきたことが一番大きいですね」と言います。ビジネスマナーや対人スキル、自身をコントロールする術など、パソで身につけた多くのことを活かし、今回編集部との窓口となって取材に応じてくださる川浦さん。パソに利用者として通い始めた頃からの川浦さんを知る伊藤さんは、その姿に立派な社会人としての太鼓判を押します。今では利用者を支え

重要なのは就職してから
継続して働くための力を養う

る立場になった川浦さんの元へ、パソを巣立った人から度々近況連絡が届くそう。「利用者」としての感覚で気軽に連絡を取りあっている感覚で気軽に連絡を取りあっている「利用者」として、パソは気軽に相談したり近況を語り合える仲間がいる大切な居場所にもなっているのではないのでしょうか。

伊藤さんは「就労移行支援事業所であるパソは、障がい者の就職活動をサポートする場所であると同時に、入社後の職場に定着するための力を養う場所でもありません」と声を上げます。個人によって違う状況や要望にマンツーマンで向き合い、仲間となって応援してくれる「就労移行支援事業所パソ」。未来に向けて一歩を踏み出そうとする人に、一般企業や地域社会への橋渡しの役目を担うべく、地域と人に寄り添う事業所をこれからも見守っていきましょう。



身体や心に障害を持った人が一般企業への就職を望む際、当人やその保護者は多くの悩みや不安に直面します。「障害者総合支援法」に基づき、一般企業などへの就職を様々な角度から支援する就労移行支援事業所「パソ豊田校」で、事業の内容や利用者を支える人たちの想いを取材しました。

「就労移行支援事業所」は、18歳以上から65歳未満の、心身に障害を持つ方が一般企業への就職を希望する際に利用できる支援施設です。ハローワークや福祉サービスとの連携を取りながら、その窓口となって利用者への案内を担うのは、スタッフの伊藤さん。自身も障がいを持つ子どもの親として、相談に訪れた支援を必要とする人の年齢や状況などを見極め、今後どうしたらいいのかわかるようにアドバイスを。利用者やその保護者の一歩を踏み出したい、という思いを大切に、その人に合った福祉サービスをご提案します。パソ豊田校では、就職に必要なスキルを身につけるための様々なカリキュラムを用意していま

障がいを抱える人の就労をサポート
「就労移行支援事業所」で学べること

す。パソコンなどの実技授業や履歴書の書き方はもとより、ストレスへの対処法や就労に必要な体調管理の仕方、空気を読むための職場シミュレーションなど、多岐にわたる授業内容は、一般の就活生も羨ましく思うほどの充実ぶり。「就職できるようにサポートすることはとても大切ですが、本当に重要なのは就職後に長く仕事を続けること」と語るのは、豊田校でパソコンの授業を担当する川浦さん。パソでは、就職後6ヵ月から3年6ヵ月の間を見守る「就労定着支援事業」も行っています。必要に応じて本人や雇用主と連絡を取り、支援や調整などを行うことは、利用者にとっても心強いもので、就職までをサポートする就労移行支援とともに重要な事業内容となっています。



統括本部部長
伊藤 友美さん

パソが行うサポート支援



自分自身や障害について理解し、支援計画を立てる

様々なカリキュラムで実技やマナーを身につける

職場見学や実習を行い、ハローワークや面接に同行

職場適応への支援や就業生活の相談、関係機関との連携



マンツーマンサポート



パソコンなどの実務から、マナー、メンタルまで多岐にわたる授業カリキュラム



詳しくはP.28をチェック！

就労移行支援事業所
パソ豊田校
住所／豊田市梅坪町8丁目2-11宇佐美ビル1F
TEL／0565-47-2222

パソ豊田校 検索



お気軽に
ご相談下さい！